

のおがた 議会だより

1 2 月 定 例 会

◆直方市債権管理条例を制定

◆準要保護新入学児童・生徒の学用品の支度金を 3 月に支給

1 2 月定例会に提出された議案とその結果

【報 告】※ 報告

報告第 2 1 号 専決処分事項の報告について（道路災害に係る損害賠償の額を定めること）

【条 例】※ 原案可決

議案第 8 5 号 直方市債権管理条例の制定について

議案第 1 0 2 号 直方市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

【人 事】※ 原案同意

議案第 8 9 号 直方市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

議案第 9 0 号 直方市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

議案第 9 1 号 直方市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

【そ の 他】※ 原案可決

議案第 8 6 号 市道路線の認定について

議案第 8 7 号 市道路線の変更について

議案第 8 8 号 市道路線の廃止について

議案第 1 0 0 号 財産の処分について

【予 算】※ 原案可決

議案第 9 2 号 平成 29 年度直方市一般会計補正予算

議案第 9 3 号 平成 29 年度直方市国民健康保険特別会計補正予算

【予 算】※ 原案可決

議案第 9 4 号 平成 29 年度直方市同和地区住宅資金貸付事業特別会計補正予算

議案第 9 5 号 平成 29 年度直方市介護保険特別会計補正予算

議案第 9 6 号 平成 29 年度直方市後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第 9 7 号 平成 29 年度直方市公共下水道事業特別会計補正予算

議案第 9 8 号 平成 29 年度直方市農業集落排水事業特別会計補正予算

議案第 9 9 号 平成 29 年度直方市水道事業会計補正予算

議案第 1 0 1 号 平成 29 年度直方市上頓野産業団地造成事業特別会計補正予算

議案第 1 0 3 号 平成 29 年度直方市一般会計補正予算

議案第 1 0 4 号 平成 29 年度直方市国民健康保険特別会計補正予算

議案第 1 0 5 号 平成 29 年度直方市同和地区住宅資金貸付事業特別会計補正予算

議案第 1 0 6 号 平成 29 年度直方市介護保険特別会計補正予算

議案第 1 0 7 号 平成 29 年度直方市後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第 1 0 8 号 平成 29 年度直方市公共下水道事業特別会計補正予算

議案第 1 0 9 号 平成 29 年度直方市農業集落排水事業特別会計補正予算

議案第 1 1 0 号 平成 29 年度直方市水道事業会計補正予算

後援のお知らせ

個人や各種団体が行う事業に対して、市議会の後援及び議長賞の設定を認めています。その際は、申請が必要となります。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

議案の内容

12月定例会で提案された議案の中から、直方市債権管理条例、上頓野産業団地の売却、準要保護新入学児童・生徒の支度金についてご紹介します。

◆ 直方市債権管理条例

市の歳入には、市税をはじめ介護保険料や下水道使用料、し尿処理手数料、市営住宅家賃など様々なものがあります。これらは、同じ市の債権（公債権・私債権）ですが、性質が異なります。法律に基づいた差し押さえ処分を受けるものもあれば、そうではないものもあります。

今回の条例制定により、市税や介護保険料、後期高齢者医療保険料、その他法律により滞納処分ができる公債権（強制徴収公債権）の徴収事務については、市が保有する相手方の情報を事務相互に利用することができるようになります。

また、歳入確保のため、市は債権の回収にあたりますが、特に、私債権等については、時効の援用を待たずとも相手方に支払う能力がないと判断した場合、市は債権の放棄をすることができるようになります。これらについて、各部署による事務処理の統一性を保ちます。

◎ ファイナンシャルプランナーにご相談を

市税や国民健康保険税など、市に払うべきものは多くあります。しかし、払いたくても払えない。滞納をどうやって解消していけばいいのか、どうやって生活していいのかわからない。そんなときは、ファイナンシャルプランナーにご相談ください。滞納を解消し、生活の再建に向けた方法を一緒に考えて考えます。詳しくは、税務課納税係（電話：25-2145）まで。

◆ 上頓野産業団地が完売

3区画のうち、残り1区画となっていました当該団地に、新たに企業の進出が決まりました。

◎ 売却価格 3億2,572万7,760円

◎ 売却先 株式会社 平島

◎ 業務内容 ルーフデッキなどの建築用外装材（主に金属屋根材）の製造

◆ 準要保護新入学児童・生徒の支度金を前倒しで支給（一般会計補正予算で計上）

経済的理由により就学が困難な児童・生徒に対して援助するものです。

これまででは、4月の申請に基づいて5月に支給していましたが、制度の趣旨や保護者の声を受け、3月に支給することに決定しました。詳しくは、学校教育課（電話：25-2323）まで。

委員会

の審査

各常任委員会は、12月5日に開催され、付託された議案について審査しました。
その主な内容です。

総務常任委員会

直方市債権管理条例の制定

本市では、歳入確保対策本部を設置し、実質単年度収支の黒字化を目標として歳入確保に努めるとともに、公債権・私債権についても、その徴収強化に向けて取り組んできました。

今回は、さらなる行政改革を実現するため、戦略的経営を視点に、コストと成果の最適化を目指した「直方市経営戦略プラン」に基づいた債権管理のさらなる適正化を推進するために本条例を制定するものです。

その主な内容としては、法律に基づいて強制徴収公債権及び非強制徴収公債権、また、私債権などを規定するほか、債権の放棄に

についても規定しています。我々委員会としては、この条例の制定により、これまでの事務処理がどのように変わるのかについて尋ねました。

これに対して担当課より、条例に基づいた事務処理がなされることで統一性が保たれること。また、非強制徴収公債権及び私債権に該当するものは、市がその権利を放棄する場合、議会の議決を経なければならなかったものが、議会の議決を経なくても債権の放棄ができるようになるとの回答がありました。

我々委員会としては、債権の放棄については、議会の議決を経ることなく、議会への報告だけで済むことから、今後の事務処理に当たっては、これまで以上に慎重さが求められること。また、各部署において事務処理に差が出ないよう、条例及び規則に基づいた運用を行い、その後の議会への報告についても丁寧な報告を行うこと。さらに、債権の整理をする際の滞納処分に当たっては、相手の事情も考慮した対応をすることなどの要望を付しました。

教育民生常任委員会

平成29年度直方市一般会計 補正予算

今回の補正予算の概要としては、各事務事業を推進する中で生じた不足額への対応や人事異動に伴う職員構成の変動による人件費の調整のほか、市が管理する施設の修繕料及びこれまで4月の申請に基づいて5月に支給していた新入学児童・生徒の学用品費を前倒しで支給するための扶助費などを新たに計上するものです。

委員会審査では、学校管理費で計上された学校遊具の修繕料及び体育施設費で計上された市立体育館外壁の修繕料について、これまでの点検の実施状況、今後の施設の修繕計画などについて担当課より説明を受け、慎重審査を行う中、不特定多数の者が利用する施設については、事故などの発生を未然に防ぐためにも定期的な点検を行い、安全確保に努めるべきとの意見がありました。

なお、採決に当たっては、

いずれも必要な予算措置であるとの意見が多数を占める中、小学校給食調理業務の委託対象校（福地小学校）の追加による債務負担行為の増額変更には賛成できないとの意見もあり、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決しました。

平成29年度直方市国民健康 保険特別会計補正予算

本案は、人事異動に伴う職員構成の変動等による人件費の調整のほか、専門業者と複数年契約を締結して実施している診療報酬明細書点検等業務委託が今年度末で満了となることから、引き続き業務委託を行うため、債務負担行為として平成29年度から平成32年度までの限度額を定めるものであり、いずれも必要な予算措置と認め、原案どおり可決しました。

平成29年度直方市介護保険 特別会計補正予算

本案は、保険事業勘定における職員及び非常勤職員の人件費の調整のほか、平成28年度に交付された介護

給付費負担金、地域支援事業交付金の精算に伴う過年度還付金及び第1号被保険者保険料で生じた過年度の還付金であり、いずれも必要な予算措置と認め、原案どおり可決しました。

産業建設常任委員会

市道路線の認定、変更、廃止について

市道路線の認定については、西鉄バス永満寺団地バス停前に位置する分譲団地内の道路用地寄附を受けて認定するものです。

また、市道路線の変更に ついては、JR筑豊本線の直方・勝野間にある川成踏切の廃止に伴い、その起点位置を変更します。

さらに、市道路線の廃止については、今回、新たに遠賀川流域下水道、溝堀ポンプ場が建設されることに伴い、市道路線の機能を廃止しようとするものであるとの説明を受け、いずれも異議なく原案どおり可決しました。

平成29年度直方市一般会計 補正予算

下水道整備費における修繕料については、頓野汚水処理場のポンプ設備等の経年劣化については事前に予想できていたものであり、当初予算での計上が可能だったのではないかと、なぜ今回の計上に至ったのか、その経緯と今後の施設整備計画について尋ねました。

担当課より、メンテナンスを行う中で、ポンプが動かなくなったことが発覚し、緊急性が高いことから今回、予算を計上した。また、今後の施設整備計画については、国が指導する長寿化計画において、特定の年度に修繕費用などが集中しないよう、年度ごとの修繕費の支出を平準化するようにしていきたいとの答弁がありました。

なお、採決に当たっては、その他の予算についても必要な予算措置であるとの意見が多数を占める中、民間委託に関する予算が計上されている議案は承認しがたいとの意見もあり、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決しました。

意見書

今定例会では、次の意見書が提出され、可決した意見書を、関係行政庁等に送付しました。

◎太陽光発電事業に関する意見書

「送付先」 福岡県知事

◎小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書

「送付先」 内閣総理大臣、文部科学大臣、経済産業大臣

人事案件

（敬称略）

◆直方市公平委員会委員

飯野 泰造

◆直方市固定資産評価審査

委員会委員

森 幸太郎

◆直方市教育委員会委員

中村 敬子